

菊花山・雪頭ヶ岳山行報告

【山行日】2018年5月12(土)～13(日)

【集合】岩舟町役場P AM 7:00

【費用】マイカー2台 : 6,700円

【メンバー】CL:鈴木、岩淵、大西、島田、関、
福田、藤原、吉田、渡辺、

【コースタイム】12日: 岩舟町役場P7:00＝
大月駅前P8:40/9:00～大月駅 9:05/9:15～駒橋
9:35～厄王権現 10:25～御前山 10:40/10:50～
沢井沢ノ頭 11:10～菊花山 12:00/12:40～金毘羅
宮 13:00～大月駅 13:25/13:35～大月駅前P
13:40/13:45＝カトレア荘 15:00

12日 晴れ 大月駅前から御前山・菊花山を周遊で登り、西湖カトレア荘へ宿泊

今年も好評の富士五湖合宿がスタートした。今年は、以前から気になっていた菊花山と雪頭ヶ岳を登る計画を立てた。一日目は御前山から菊花山を周遊で登るが、大月市の南側に聳えるかなり



マイナーな山だが、展望は素晴らしい山である。岩舟支所を7時に出発し、東北道から圏央道、中央道と走り大月ICで降りて予定通り大月駅近くのパーキングに車を止める。出発の準備が出来たら大月駅まで歩いて行き、トイレを済ませストレッチを行う。駅前通りから左折して国道20号線を東に進み、まずは御前山を目指す。駒場交差点手前のドラッグストア一先を右折し、大月バイパスを橋で渡り山際の林道を道なりに進むと四合目の赤鳥居に出る。ここが御前山の登山口

で、小休止して衣服調整し、水分を補給したら出発する。杉や雑木林の中を、九十九折れに登って

行くが新緑の登山道はとても気持ちが良い。所々ヤマツツジの花が咲き、彩やかなオレンジ色に疲れが癒される。八合目の鳥居をくぐってしばらく登ると、大きな岩にへばりつくように建つコンクリート造りの「厄王権現」が現れる。厄王権現にお参りし、小休止してグレープフルーツや菓子を食べてエネルギーを補給する。厄王権現からは岩稜を一登りで尾根に登り上げ、道標に従って左に進みすぐに右に登ると御前山山頂に着く。山頂からの眺望は素晴らしく、



富士山や杓子山、道志山塊の山々がくっきりと見渡せる。眺望を楽しみながら休憩し、写真を撮ったり果物や菓子を食べのんびり過ごす。

ここからは登って来た分岐まで戻り、分岐を直進し九鬼山方面に向かって稜線を進む。明るく気持ち



ちが良い稜線からは、時折富士山が望め爽快に歩くことができる。尾根道を馬立山へ向かって下り、下り切った鞍部が沢井沢ノ頭でここから右に菊花山へ向かって下って行く。200mくらい下った鞍部から、小ピークを二つ越え岩場を登り切ると三角点がある菊花山山頂に着いた。山頂は岩場で狭かったが、丁度12時に着いたのでここでランチタイムとする。山ご飯のきのこうどんを作り、出汁巻き卵や漬物、おにぎり等を美味しくいただく。山頂は木が茂って眺望は少ないが、岩の上に上がると

富士山展望が素晴らしい。狭いのであまり長居は出来ず、昼食が済んだら記念写真を撮って下山する。山頂からは岩の稜線を少し進むと急降下が始まり、ロープや鎖を頼りに下って行く。途中、富士山や大月の街が見渡せる場所があり、眺望を楽しみながらゆっくり安全に下って行く。アツという間に下り切り、金毘羅宮の鳥居をくぐり墓地の脇を下ると大月バイパスの歩道に出る。歩道を右に進み、駅前への道を左折して進むと大月駅に着く。トイレを済ませ、飲料やプリンなど好きなものをゲットし駐車場に戻った。時間が早いので一般道を通り、宿の「カトレア」に向かう。途中、セブンで明日の昼食を購入し、15時にはカトレアに着いた。男女とも去年と同じ部屋に案内され、交代で入浴し女性の部屋で宴会がスタートする。ビールや八海山、ワイン等好きなものをいただき、初めて参加の Y さんもお機嫌でお酒を飲んでいた。丁度お酒が無くなった頃、「夕食が出来ました」と声が掛かり、一階の食堂へ移動し宴会が再開する。カトレアの食事は皆さん大好きで、「美味しい」「美味しい」と言いながら満足そうに食べていた。明日の天気予報は昼過ぎから雨の予報なので、鬼が岳を諦め、雪頭ヶ岳をピストンで登ることにする。いつものように朝5時30分から河口湖畔の大石公園へ散歩に出かけると伝え、お開きにして部屋に戻り就寝する。



**13日:カトレア荘 8:10=西湖根場浜P8:15/8:30
~東川入堰堤広場 9:00~ブナ原生林標識 10:15
~雪頭ヶ岳 11:05/11:15~ブナ原生林標識 11:45
~東川入堰堤広場 12:40~西湖根場浜P
13:00/13:40=岩舟町役場 P17:00**

13日 晴れのち曇り後雨 根場駐車場から雪頭ヶ岳にピストンで登り岩舟支所へ

朝5時に起き窓の外を見ると、薄曇りでまずまずの天気だった。河口湖畔の大石公園まで散歩に行くので、顔を洗い出かける準備をする。



5時30分に全員揃い、車に乗り大石公園に向かって出発する。

思いのほか良い天気恵まれ、皆さん楽しそうに会話が弾んでいる。文化洞トンネルを抜け河口湖



畔の道に出ると、富士山が大きく見え「ウワ～富士山だ！」と歓声が上がる。大石公園に着き、いつもの全国の富士山が石で造られた「富士山の模型」の前で記念写真を撮る。ラベンダーやルピナス、ジャーマンアイリス等の花が咲く遊歩道を富士山を見ながら歩けるゴージャスな散歩に皆満足そう。奥の富士五湖と富士山を花で形取った「花富士」まで行き、写真を撮ったら引き返し駐車場へ戻る。宿への帰り道、今日の登山の駐車場を確認しトイレが綺麗な根場浜駐車場に車を止めることにした。宿に戻り出かける用意をしていると、朝食の準備が出来1階の食堂に行く。朝食も豪華でとても美味しく、ついお代わりをして食べ過ぎてしまい後悔する。8時10分に全員車に乗り、宿のおかみさんへお礼を言って出発する。駐車場へはほんの5分で到着し、トイレを済ませストレッチが済んだら出発する。道路を横切り道標に従って、川沿いの道を直進する。西湖キャンプ場の脇を通り、十字路を道標に従って右に進み30分くらいで東川入堰堤広場に着く。堰堤の右側に登山道が付けられており、堰堤まで登りそこから少し下る。檜の植林帯の中を登り、やがてカラマツの樹林帯に変わり九十九折れに登って行く。自然林になると新緑の中ヤマツツジやトウゴクミツバツツジが見られ、急登で疲れた体を癒してくれる。振り返ると大きな富士山が微笑んでくれ、元気を与えてくれる。1500mを越えるとブナの木が目立つようになり、「ブナの原生林」の標識が立つ場所で休憩する。この先から急坂を登るようになり、クサリやロープを頼りに岩場を登って行く。このころからガスが掛かり始め、視界が悪くなる。山頂直下のお花畑に出るが、まだ花は咲いて無くここからほんのひと登りで雪頭ヶ岳山頂に着いた。山頂はガスってしまい、眺望は得られなかったがとりあえず山頂を踏み満足できた。景色が良ければ山頂で昼食の予定だったが、眺望が無く雨も降りそうな気配なので、菓子を食べて記念写真を撮ってから下山する。下山は往路を戻り、「ブナの原生林」の標識あたりからポツリと雨粒が落ちてきた。F 田さんの奥さんから「小山市はもう雨が降っている」との情報があり、雨が予報よりも早く降っ

を止めることにした。宿に戻り出かける用意をしていると、朝食の準備が出来1階の食堂に行く。朝食も豪華でとても美味しく、ついお代わりをして食べ過ぎてしまい後悔する。8時10分に全員車に乗り、宿のおかみさんへお礼を言って出発する。駐車場へはほんの5分で到着し、トイレを済ませストレッチが済んだら出発する。道路を横切り道標に従って、川沿いの道を直進する。西湖キャンプ場の脇を通り、十字路を道標に従って右に進み30分くらいで東川入堰堤広場に着く。堰堤の右側に登山道が付けられており、堰堤まで登りそこから少し下る。檜の植林帯の中を登り、やがてカラマツの樹林帯に変わり九十九折れに登って行く。自然林になると新緑の中ヤマツツジやトウゴクミツバツツジが見られ、急登で疲れた体を癒してくれる。振り返ると大きな富士山が微笑んでくれ、元気を与えてくれる。1500mを越えるとブナの木が目立つようになり、「ブナの原生林」の標識が立つ場所で休憩する。この先から急坂を登るようになり、クサリやロープを頼りに岩場を登って行く。このころからガスが掛かり始め、視界が悪くなる。山頂直下のお花畑に出るが、まだ花は咲いて無くここからほんのひと登りで雪頭ヶ岳山頂に着いた。山頂はガスってしまい、眺望は得られなかったがとりあえず山頂を踏み満足できた。景色が良ければ山頂で昼食の予定だったが、眺望が無く雨も降りそうな気配なので、菓子を食べて記念写真を撮ってから下山する。下山は往路を戻り、「ブナの原生林」の標識あたりからポツリと雨粒が落ちてきた。F 田さんの奥さんから「小山市はもう雨が降っている」との情報があり、雨が予報よりも早く降っ

ストレッチが済んだら出発する。道路を横切り道標に従って、川沿いの道を直進する。西湖キャンプ場の脇を通り、十字路を道標に従って右に進み30分くらいで東川入堰堤広場に着く。堰堤の右側に登山道が付けられており、堰堤まで登りそこから少し下る。檜の植林帯の中を登り、やがてカラマツの樹林帯に変わり九十九折れに登って行く。自然林になると新緑の中ヤマツツジやトウゴクミツバツツジが見られ、急登で疲れた体を癒してくれる。振り返ると大きな富士山が微笑んでくれ、元気を与えてくれる。1500mを越えるとブナの木が目立つようになり、「ブナの原生林」の標識が立つ場所で休憩する。この先から急坂を登るようになり、クサリやロープを頼りに岩場を登って行く。このころからガスが掛かり始め、視界が悪くなる。山頂直下のお花畑に出るが、まだ花は咲いて無くここからほんのひと登りで雪頭ヶ岳山頂に着いた。山頂はガスってしまい、眺望は得られなかったがとりあえず山頂を踏み満足できた。景色が良ければ山頂で昼食の予定だったが、眺望が無く雨も降りそうな気配なので、菓子を食べて記念写真を撮ってから下山する。下山は往路を戻り、「ブナの原生林」の標識あたりからポツリと雨粒が落ちてきた。F 田さんの奥さんから「小山市はもう雨が降っている」との情報があり、雨が予報よりも早く降っ



ストレッチが済んだら出発する。道路を横切り道標に従って、川沿いの道を直進する。西湖キャンプ場の脇を通り、十字路を道標に従って右に進み30分くらいで東川入堰堤広場に着く。堰堤の右側に登山道が付けられており、堰堤まで登りそこから少し下る。檜の植林帯の中を登り、やがてカラマツの樹林帯に変わり九十九折れに登って行く。自然林になると新緑の中ヤマツツジやトウゴクミツバツツジが見られ、急登で疲れた体を癒してくれる。振り返ると大きな富士山が微笑んでくれ、元気を与えてくれる。1500mを越えるとブナの木が目立つようになり、「ブナの原生林」の標識が立つ場所で休憩する。この先から急坂を登るようになり、クサリやロープを頼りに岩場を登って行く。このころからガスが掛かり始め、視界が悪くなる。山頂直下のお花畑に出るが、まだ花は咲いて無くここからほんのひと登りで雪頭ヶ岳山頂に着いた。山頂はガスってしまい、眺望は得られなかったがとりあえず山頂を踏み満足できた。景色が良ければ山頂で昼食の予定だったが、眺望が無く雨も降りそうな気配なので、菓子を食べて記念写真を撮ってから下山する。下山は往路を戻り、「ブナの原生林」の標識あたりからポツリと雨粒が落ちてきた。F 田さんの奥さんから「小山市はもう雨が降っている」との情報があり、雨が予報よりも早く降っ



ストレッチが済んだら出発する。道路を横切り道標に従って、川沿いの道を直進する。西湖キャンプ場の脇を通り、十字路を道標に従って右に進み30分くらいで東川入堰堤広場に着く。堰堤の右側に登山道が付けられており、堰堤まで登りそこから少し下る。檜の植林帯の中を登り、やがてカラマツの樹林帯に変わり九十九折れに登って行く。自然林になると新緑の中ヤマツツジやトウゴクミツバツツジが見られ、急登で疲れた体を癒してくれる。振り返ると大きな富士山が微笑んでくれ、元気を与えてくれる。1500mを越えるとブナの木が目立つようになり、「ブナの原生林」の標識が立つ場所で休憩する。この先から急坂を登るようになり、クサリやロープを頼りに岩場を登って行く。このころからガスが掛かり始め、視界が悪くなる。山頂直下のお花畑に出るが、まだ花は咲いて無くここからほんのひと登りで雪頭ヶ岳山頂に着いた。山頂はガスってしまい、眺望は得られなかったがとりあえず山頂を踏み満足できた。景色が良ければ山頂で昼食の予定だったが、眺望が無く雨も降りそうな気配なので、菓子を食べて記念写真を撮ってから下山する。下山は往路を戻り、「ブナの原生林」の標識あたりからポツリと雨粒が落ちてきた。F 田さんの奥さんから「小山市はもう雨が降っている」との情報があり、雨が予報よりも早く降っ

できそうだ。皆さんに「天気良くないので駐車場まで下り、駐車場の東屋で昼食にします」と伝える。堰堤あたりまで下ると雨粒を感じるようになり、林道の樹林が無い所は結構雨粒が当るようになる。我輩は先行して林道を急ぎ足で下り、東屋で味噌ラーメンを作って皆を待つ。タイミングよく皆さんが戻り、東屋のテーブルでランチタイムとなる。雨で冷えて来た為、温かい味噌ラーメンは美味しいと好評だった。昼食が済んだら帰路につく。予定よりも時間が早いので、道の駅に寄りたいとリクエストがあり道の駅「なるさわ」に向かう。ところが国道139号線に出ると渋滞で、車がなかなか進まない。道の駅も車がいっぱいなので、あきらめてそのまま高速へ向かう。高速道も大月 JCT 手前から渋滞が始まり、小仏トンネルを抜けるまで続き1時間ロスした。圏央道の狭山 PA で休憩し、そのあとは順調に走り結果予定通り17時に岩舟支所に帰着出来た。

皆さんが毎年楽しみにしている「富士五湖合宿」、来年は大月市の北にある岩殿山のリクエストがあった。

